

経営資源

三機工業グループが100年をかけて積み上げてきた資本は、日々の事業活動を支えるとともに、次なる成長の源泉となります。今後も経営資源の充実に努めながら、当社グループ最大の提供価値である総合エンジニアリングの質の向上を果たし、自らの持続的な成長へとつなげていきます。

	三機工業グループの強み	ビジネス推進にあたっての課題	近年および最新の取り組み	インプット(2024年度)		アウトカム(2024年度)	
<div></div> 財務資本	<ul style="list-style-type: none">●主力の建築設備事業における収益性向上を通じて蓄積した強固な財務基盤●安定的・持続的な株主還元	<ul style="list-style-type: none">●さらなる成長に向けた積極的な成長投資の推進●資本効率を意識したキャッシュアロケーション戦略●事業ポートフォリオマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none">●成長投資枠500億円の設定と事業投資検討会の立ち上げ●政策保有株式の売却●事業別ROICの算出・活用を通じた事業ポートフォリオの最適化の推進	純資産	1,063億円	ROE	16.3%
				自己資本比率	52.9%	EPS	326.31円
				成長投資	47億円	配当性向	50.6%
						DOE	8.2%
						1株当たり年間配当金	165円
<div></div> 人的資本	<ul style="list-style-type: none">●総合エンジニアリングの技術を連綿と受け継ぐプロフェッショナルかつ多様な人財●お客さまのニーズを着実に捉える高いコミュニケーション能力●組織に根付いた創意工夫とやり抜く力	<ul style="list-style-type: none">●経営戦略と連動した人財ポートフォリオとタレントマネジメント●旺盛な建設需要に対応するための採用力の強化●将来の労働人口減少を見据えた多様な人財の獲得●従業員の主体的な能力開発の促進●働き方改革およびDX推進を通じた生産性の向上●人財価値の最大化に向けた従業員エンゲージメントの向上	<ul style="list-style-type: none">●総合研修・研究施設「三機テクノセンター」を活用した技術・安全研修の継続的な実施●DXや現場支援体制の構築を通じた働き方改革の推進●人財の定着を促す施策として、新卒採用者を対象とした「奨学金代理返還制度」を導入●教育研修体制の強化に向け、関与する組織を集約する「三機研修センター」を設立●「アルムナイ(退職者)ネットワーク」運用開始●キャリア採用強化策の一環として「リファラル採用」の運用を開始●エンゲージメントサーベイ結果を基にした職場環境整備	従業員数	2,653名	エンゲージメントスコア	54.0
				一人当たりの平均研修費用	6.7万円／年	施工管理技士(土木・建築・電気工事・管工事)(2025年4月1日現在)	1,331名
				グループ・協力会社を含む技術力育成活動		女性管理職比率(単体／2025年4月1日現在)	2.4%
						外国籍社員比率(単体／2025年4月1日現在)	1.1%
					一人当たり月平均時間外労働時間	27.0時間	
					一人当たり有給休暇取得率	65.8%	
<div></div> 製造資本	<ul style="list-style-type: none">●技術力の継承・発展を担う「三機テクノセンター」●搬送機器の主力生産拠点「大和プロダクトセンター」	<ul style="list-style-type: none">●旺盛な建設需要に応える施工体制●外部企業や社内R&Dセンターと連携した次世代の搬送技術・搬送機器の開発や事業連携●水処理施設の海外市場開拓に向けた生産体制の確保	<ul style="list-style-type: none">●フロントローディングの推進●高付加価値製品の開発・製造に向け、大和プロダクトセンター内にクリーンルームを構築●水処理施設の海外市場開拓に向け、工場増設投資を推進	国内拠点(支社・支店)	18カ所	施工中のトラブル・クレーム削減率 2023年度比	約25%減
				総合研修・研究施設(三機テクノセンター・R&Dセンター)	2カ所	労働災害度数率(単体)	0.56
				大和プロダクトセンター	1カ所		
<div></div> 知的資本	<ul style="list-style-type: none">●総合エンジニアリングの幅広い要素技術●幅広い技術領域での知的財産の蓄積●R&Dセンターを中核とした研究開発体制	<ul style="list-style-type: none">●高度専門技術者の確保・育成●組織横断的なイノベーション創出体制の強化●デジタル変革(DX)に対応した技術基盤の構築●次世代技術への投資と既存技術の高度化のバランス	<ul style="list-style-type: none">●産学官連携による次世代技術の共同開発推進●脱炭素社会実現に向けたカーボンニュートラル技術の独自開発●環境負荷低減・省エネルギー技術の技術開発の強化●「地球MIRAIプロジェクト」による新技術探索と新事業創出	試験研究開発費	20.8億円	新規特許取得	54件
				特許登録数(累計)	467件		
				産学官連携数	23件		
<div></div> 自然資本	<ul style="list-style-type: none">●環境に配慮した製品や工法の開発推進体制●当社省エネルギー提案を通じた「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の運用による顧客のCO₂削減への支援	<ul style="list-style-type: none">●GHG排出量や廃棄物などの環境負荷の定量的な把握と、その改善に向けた対応の推進●より社会に資する環境に配慮した製品や工法の開発	<ul style="list-style-type: none">●温室効果ガス排出量の着実な削減に向けて、SBT認定を取得●南極地域観測事業に人員を派遣し、排水処理設備や空調設備の維持・管理業務を通じて、南極地域の生物多様性保全に貢献●環境省「生物多様性のための30by30アライアンス」への参画●三機環境園の環境省「自然共生サイト」認定	エネルギー使用量	25,329MWh	提案によるCO ₂ 削減貢献量(受注分)	67,556t-CO ₂
				水使用量	35,986m ³	自社製品による水処理量	1.1億m ³
						「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度を通じた植樹支援	5,411本
<div></div> 社会・関係資本	<ul style="list-style-type: none">●日本全国で当社の施工業務を支える協力会会員企業●ビルオーナーやデベロッパー、各種メーカー、行政機関など、長年をかけて培ってきた強固な顧客基盤	<ul style="list-style-type: none">●協力会社との連携強化●将来にわたっての施工体制の維持・強化●協力会社をはじめとするお取引先の安定した経営環境の維持	<ul style="list-style-type: none">●協力会社の従業員研修に三機テクノセンターを活用し、技術力向上を推進●お取引先に対する支払い条件改善の継続的な実施●地域の発展に寄与する多様な社会貢献活動の実施	協力会会員企業	870社	取引先との意見交換の実施	39社
				お取引先との連携			
				オープンイノベーションによる価値創出			
				スタートアップ企業との連携	3件		